

(川内市中福良町成岡)

**位置と環境**

遺跡は、川内市街地から南側約3kmのところであり、隅之城駅の西側へ約1kmのところにある。東眼下にある平野へ舌状に伸びる標高約20mの台地上に立地している。

**調査の経緯**

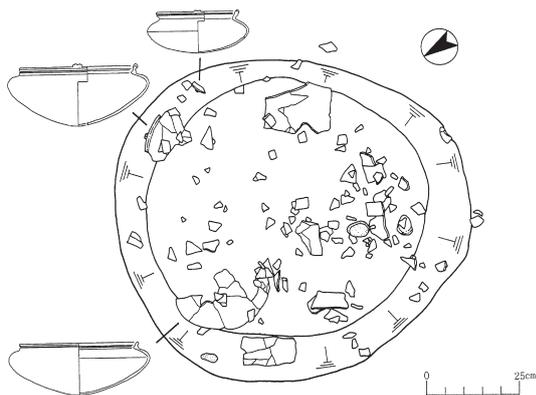
調査は、昭和53年に国道3号線隈之城バイパス建設に伴い、県教育委員会により分布調査、昭和55年に確認調査を実施した。その結果、3回による本調査を実施した。

**遺構と遺物**

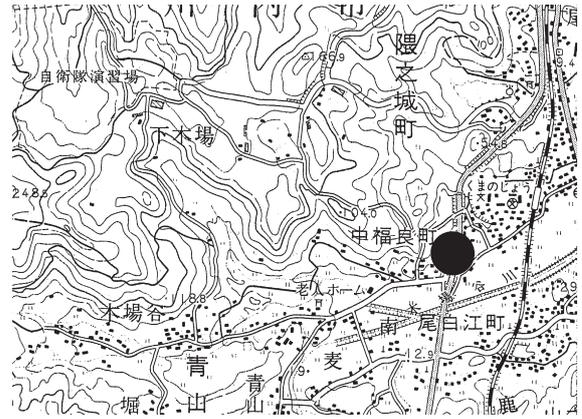
遺跡は、旧石器時代から近代まで長期にわたり、連綿と続く複合遺跡である。

旧石器時代は、3か所のブロックが確認され、ここから細石器・尖頭器・ナイフ形石器・削器などが出土している。出土した石器は、ナイフ形石器文化期（ナイフ形石器・剥片尖頭器・台形石器など）と細石刃文化期の2文化期に分かれるが、ブロックではこれらが相伴している。細石核には野岳・休場タイプ、加治屋園タイプ、船野タイプなどがある。

縄文時代は、晩期の土坑が発見され、中から浅鉢の完形土器が3点出土しているが、相伴して出土した深鉢とのセット関係は重要である。また、出土数は多くないが、前平式・石坂式・手向山式・市来式・鐘崎式・御領式・黒川式・夜白式土器など縄文早期から晩期まで多種の土器と、石匙・磨製石斧・局部



第1図 縄文時代晩期の土坑

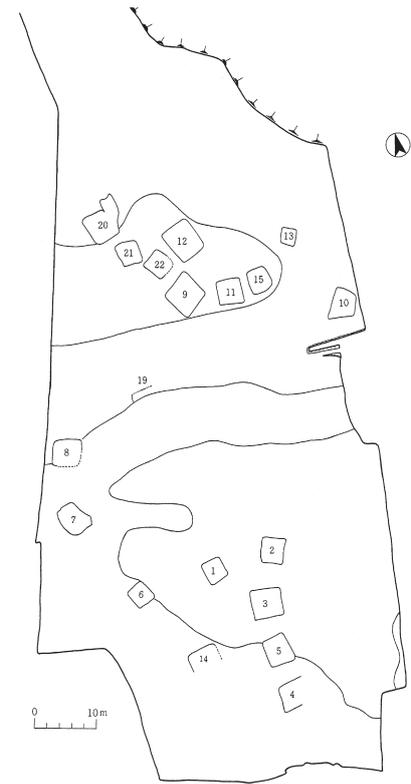


第2図 成岡遺跡の位置

磨製石斧・凹石・敲石などの石器が出土した。

弥生時代は、中期の土器が1点出土したのみである。古墳時代は、竪穴住居跡が16軒発見された。その形状は、正方形・長方形・台形を呈し、中央に炉をもち、中心部付近は堅く踏み締められていたが、支柱穴は確認できなかった。住居跡内からは、甕形土器・壺形土器・埴形土器・鉢形土器・高坏形土器・蓋形土器・手捏ね土器・鉄器・ふいご羽口・砥石などが出土した。そのなかには、中九州系の甕形土器や須恵器も含まれている。ほかに土坑1基が検出され、5世紀後半の集落であることが判明した。

奈良・平安時代は柱穴が多く発見され、掘立柱建物跡11棟を検出した。1間×3間、2間×5間、3間×3間、不明のものが各1棟、2間×2間が5棟、2間×3間の



第3図 古墳時代の遺構配置図

ものが2棟である。

建物は磁北に対して西に傾くものが多いが、その角度差は大きく時期差のあることが想定される。また、東に傾くもの3棟は南側に集中し、角度が似ていることから時期が近いと考えられ、出土品から平安時代末から鎌倉時代前半のものと考えられる。また、楕円形・略円形をした土坑12基の検出があり、土師器・須恵器などが多く出土している。遺物も多く出土しており、越州窯系青磁・緑釉土器・猿面硯・転用硯など庶民集落ではみられないような出土品も多くあり、土坑から出土した土師器は編年上重要とされる。転用硯は、須恵器を転用したものである。

鎌倉時代前期は、溝と竪穴状遺構4基が発見された。溝からは、土師器・東播系須恵器・磁器・石鍋など多くの遺物が出土した。竪穴状遺構は、方形あるいは隅丸方形の形状で、いずれも3m前後の小型で深く、底の壁際には柱穴や溝が巡ったり、四隅に柱穴が確認された。

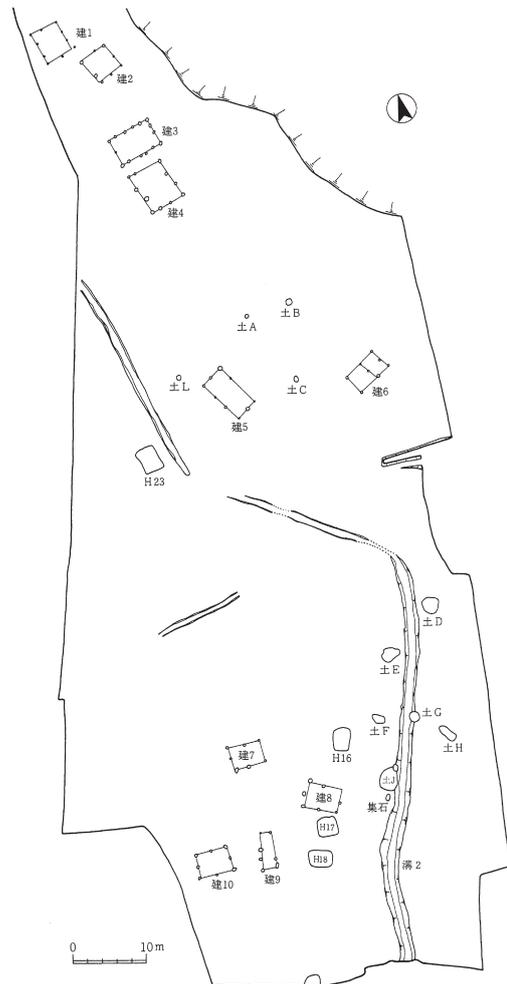
室町・安土桃山時代は、青磁・白磁などが出土しているが、数は少ない。なかでもガラス玉は220個以上からなる数珠・洪武通寶4・白磁皿などを副葬した墓1基と、ほかに8基の土坑が発見された。

江戸時代は、V字状の溝と掘立柱建物跡1棟、墓石を伴う墓28基などの遺構を検出した。墓壇は、長方形・楕円形・隅丸方形を呈しており、男8、女4、不明9、小児2の人骨23体が発見された。寛永通寶・扇子・キセルなどが副葬され、古銭は7枚が11基、6枚が5基、そのほか4基、6基からの出土はなかった。

明治時代末から大正時代初めにかけて所在したという製糸工場の跡も発見された。

#### 特徴

- 1 旧石器時代から近代まで連綿として続く複合遺跡である。
- 2 縄文時代晩期の深鉢と浅鉢が一つの土坑からいっしょに出土し、セット関係が明白となった。
- 3 古墳時代の住居跡16軒が発見され、集落の構成、土器の前後関係などが注目される。
- 4 古代から中世にかけての掘立柱建物跡・土坑・溝などからなる集落は「山内文書」にある成岡名



第4図 古代・中世の遺構配置図

とのかかわりが今後注目される。

- 5 江戸時代の墓が多く見つかり、人類学的に重要であるとともに、建物との関係も注目される。

#### 資料の所在

出土遺物は、県立埋蔵文化財センターに保管され、その一部は上野原縄文の森展示館・川内市歴史資料館に展示している。

#### 参考文献

- 鹿児島県教育委員会1983「成岡遺跡・西ノ平遺跡・上ノ原遺跡」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』28
- 鹿児島県教育委員会1985「成岡遺跡II」『鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書』35

(池畑耕一)